

特115

937

及己種空歌集 前編 六



始



持115
937

後足徳舎歌集

前集

戀歌

戀



大正元年
二月十四日
入るてまはる人の恋をまはる恋の心あはれ世の中

初戀

大正元年
二月十四日

大正元年
二月十四日

大正元年
二月十四日

大正元年
二月十四日

未言出戀

大正二年

つれづれとあはれなる人の恋をまはる恋の心あはれ世の中

正
5. 4. 8
寄贈

欲言出戀

明治卅六年十月

いふ言はずに思ふ言ふに
かたじけなく思ふ言ふに

同卅二年二月十日

思ふ言ふに思ふ言ふに
かたじけなく思ふ言ふに

思戀

大正二年三月廿七日

思ふ言ふに思ふ言ふに
かたじけなく思ふ言ふに

明治卅六年八月

思ふ言ふに思ふ言ふに
かたじけなく思ふ言ふに

大正元年八月廿日

思ふ言ふに思ふ言ふに
かたじけなく思ふ言ふに

同日

思ふ言ふに思ふ言ふに
かたじけなく思ふ言ふに

同十七日

思ふ言ふに思ふ言ふに
かたじけなく思ふ言ふに

五思戀

明治卅三年五月

思ふ言ふに思ふ言ふに
かたじけなく思ふ言ふに

思入戀

同卅二年十月

思ふ言ふに思ふ言ふに
かたじけなく思ふ言ふに

思涙戀

大正四年十月廿三日

思ふ言ふに思ふ言ふに
かたじけなく思ふ言ふに

同卅二年十二月十日

思ふ言ふに思ふ言ふに
かたじけなく思ふ言ふに

思入人

明治卅四年七月十日

思ふ言ふに思ふ言ふに
かたじけなく思ふ言ふに

思戀

同卅二年二月

思ふ言ふに思ふ言ふに
かたじけなく思ふ言ふに

同二年

思ふ言ふに思ふ言ふに
かたじけなく思ふ言ふに

大正四年三月十日

思ふ言ふに思ふ言ふに
かたじけなく思ふ言ふに

見戀

大正四年
三月十日

ちんちんしてのりておのれをいふは人の心

僅見戀

同二年
五月十日

おのれをいふは人の心

通書戀

同元年
八月十日

おのれをいふは人の心

書戀

同元年

おのれをいふは人の心

明治卅三年
三月十日

おのれをいふは人の心

大正元年
八月十日

おのれをいふは人の心

明治卅三年
三月十日

おのれをいふは人の心

祈戀

大正二年
四月一日

おのれをいふは人の心

同元年

おのれをいふは人の心

同二年
四月一日

おのれをいふは人の心

同元年

おのれをいふは人の心

同元年
三月十日

おのれをいふは人の心

祈人戀

同元年

おのれをいふは人の心

同日

おのれをいふは人の心

祈空戀

同五年
八月十日

おのれをいふは人の心

大正五年

行々力くさるる

不逢戀

同三年

月あきしるる

同四年

いねるる

行不逢戀

元治元年

わさささ

難逢戀

文久元年

くさるる

偽戀

大正五年

い

別戀

大正五年

く

明治廿九年

い

同二年

い

大正元年

い

大正二年

い

別増戀

大正三年

い

待戀

明治廿九年

い

大正元年

い

同日

い

大正元年
十月廿五日

思待戀

文久元年

大正三年
四月十六日

夕待戀

明治卅三年
二月

大正元年
九月二日

連夜待戀

同三年
四月九日

月前待戀

明治卅三年
四月廿九日

いづれかきつゝのこころをわすれぬとぞ思ふ

まらぬ人なればこそ恋の心は

梅の香もほろほろと恋の心

ふかき夜もあはれと恋の心

ゆかりの道も恋の心

あつたふりつゝ恋の心

まらぬ道のあはれと恋の心

大正元年
十月四日

待望戀

同年
九月二日

同三年
四月十日

文久二年

絶後待戀

大正五年
一月十九日

建戀

大正元年
九月四日

明治卅五年
四月

同元年

花の香もあはれと恋の心

あつたふりつゝ恋の心

まらぬ道のあはれと恋の心

神の香もほろほろと恋の心

あつたふりつゝ恋の心

あつたふりつゝ恋の心

あつたふりつゝ恋の心

あつたふりつゝ恋の心

大正元年
九月十日

清くをたれよいよき世に別後かおあつたはるるのよ

夢別戀

同二年
四月十日

おのれをばのよき世に別後かおあつたはるるのよ

遠別戀

同五年
一月十日

おのれをばのよき世に別後かおあつたはるるのよ

同六年
四月十日

おのれをばのよき世に別後かおあつたはるるのよ

惜別戀

同九年
九月十日

おのれをばのよき世に別後かおあつたはるるのよ

別後戀

又
二年

おのれをばのよき世に別後かおあつたはるるのよ

大正二年
四月十日

おのれをばのよき世に別後かおあつたはるるのよ

大正元年
九月七日

おのれをばのよき世に別後かおあつたはるるのよ

後朝戀

明治二年
二月十日

おのれをばのよき世に別後かおあつたはるるのよ

明治三年
四月十日

おのれをばのよき世に別後かおあつたはるるのよ

同四年
十月十日

おのれをばのよき世に別後かおあつたはるるのよ

中

明治四年
八月十日

おのれをばのよき世に別後かおあつたはるるのよ

夢別戀

明治五年
四月十日

おのれをばのよき世に別後かおあつたはるるのよ

明治六年
二月十日

おのれをばのよき世に別後かおあつたはるるのよ

同七年
三月十日

おのれをばのよき世に別後かおあつたはるるのよ

思

明治二年

文政四年
十二月二十

同三年
九月廿四

同二年
十月廿

相思

明治二年

同卅五年
四月

同卅一年

思ひ合はせしめ給へ

任意に思はせしめ給へ

思ひ合はせしめ給へ

思ひ合はせしめ給へ

思ひ合はせしめ給へ

思ひ合はせしめ給へ

思ひ合はせしめ給へ

思ひ合はせしめ給へ

思ひ合はせしめ給へ

思

文政元年
九月廿三

明治卅五年
三月廿

同卅五年
四月

同卅四年
十月十

大正元年
九月十三

明治卅二年
三月廿四

大正二年
四月廿

明治二年

思ひ合はせしめ給へ

思ひ合はせしめ給へ

思ひ合はせしめ給へ

思ひ合はせしめ給へ

思ひ合はせしめ給へ

思ひ合はせしめ給へ

思ひ合はせしめ給へ

思ひ合はせしめ給へ

思ひ合はせしめ給へ

思ひ合はせしめ給へ

名主戀

明治二年

あつたてのあつたての中あつたてのあつたてのあつたて

同二年
三月十日

あつたてのあつたてのあつたてのあつたてのあつたて

大正元年
九月十日

あつたてのあつたてのあつたてのあつたてのあつたて
然有

あつたて

同日

あつたてのあつたてのあつたてのあつたてのあつたて

明治四年
四月九日

あつたてのあつたてのあつたてのあつたてのあつたて
所由欲

逢不遇戀

大正二年

あつたてのあつたてのあつたてのあつたてのあつたて

増戀

同五年
一月十日

あつたてのあつたてのあつたてのあつたてのあつたて

久戀

明治二年
三月十日

あつたてのあつたてのあつたてのあつたてのあつたて
及宿

大正二年
五月一日

あつたてのあつたてのあつたてのあつたてのあつたて

舊戀

同五年
一月十日

あつたてのあつたてのあつたてのあつたてのあつたて

稀戀

大正二年
五月十日

あつたてのあつたてのあつたてのあつたてのあつたて
始

占戀

同元年
九月十日

あつたてのあつたてのあつたてのあつたてのあつたて
シ

有妨戀

同五年
四月九日

あつたてのあつたてのあつたてのあつたてのあつたて

明治卅六年
九月五日

川東とてつものあつちを渡りかかるといふ人々を御志

同卅二年
四月五日

とてつものあつちを渡りかかるといふ人々を御志

大正九年
四月五日

とてつものあつちを渡りかかるといふ人々を御志

疑行未戀

明治卅三年
三月十日

とてつものあつちを渡りかかるといふ人々を御志

漸、變戀

大正九年
一月五日

とてつものあつちを渡りかかるといふ人々を御志

變戀

同元年
九月十日

とてつものあつちを渡りかかるといふ人々を御志

明治卅三年
三月十日

とてつものあつちを渡りかかるといふ人々を御志

同卅四年
八月十日

とてつものあつちを渡りかかるといふ人々を御志

大正九年
九月十日

とてつものあつちを渡りかかるといふ人々を御志

同卅年
三月十日

とてつものあつちを渡りかかるといふ人々を御志

臨期變約戀

明治卅六年
九月

とてつものあつちを渡りかかるといふ人々を御志

絶戀

大正九年
十月一日

とてつものあつちを渡りかかるといふ人々を御志

明治卅三年
三月十日

とてつものあつちを渡りかかるといふ人々を御志

大正九年
十月一日

とてつものあつちを渡りかかるといふ人々を御志

恨絶戀

明治卅六年
二月

とてつものあつちを渡りかかるといふ人々を御志

同卅二年
三月十日

とてつものあつちを渡りかかるといふ人々を御志

絶後戀

大正三年
十月六日

~~~~~

絶久戀

同廿八日

~~~~~

同元年
十月二日

~~~~~

恨戀

明治元年

~~~~~

同廿二年
十月

~~~~~

同廿二年  
三月廿三日

~~~~~

大正元年
四月廿九日

~~~~~

同二年  
四月廿七日

~~~~~

互恨戀

明治廿年
九月

~~~~~

心中恨戀

同元年

~~~~~

恨身戀

大正元年
九月廿七日

~~~~~

同日

~~~~~

悔戀

明治廿年
九月

~~~~~

同廿二年  
四月廿七日

~~~~~

大正元年
九月廿七日

~~~~~

思貴人戀

同九年

思貴人戀

思貴人戀

同九年

思貴人戀

思貴人戀

同九年

思貴人戀

同九年

思貴人戀

思貴人戀

同九年

思貴人戀

同九年

思貴人戀

同九年

思貴人戀

同日

思貴人戀

同九年

思貴人戀

同九年

思貴人戀

同日

思貴人戀

思貴人戀

同九年

思貴人戀

同九年

思貴人戀

思貴人戀

同九年

思貴人戀

思貴人戀

同九年

思貴人戀





人傳戀

大正元年  
五月十日  
おなつたれつきののほろたけ  
人伝のまじりたるあはれ  
直

戀夢

同二年  
五月十日  
おなつたれつきののほろたけ  
人伝のまじりたるあはれ  
直  
同二年  
二月十日  
おなつたれつきののほろたけ  
人伝のまじりたるあはれ  
直  
明治廿二年  
五月五日  
おなつたれつきののほろたけ  
人伝のまじりたるあはれ  
直  
同元年  
えん  
二年  
おなつたれつきののほろたけ  
人伝のまじりたるあはれ  
直

夢後戀

大正元年  
八月十日  
おなつたれつきののほろたけ  
人伝のまじりたるあはれ  
直  
同日  
おなつたれつきののほろたけ  
人伝のまじりたるあはれ  
直

寢覺戀

同五年  
二月十日  
おなつたれつきののほろたけ  
人伝のまじりたるあはれ  
直  
明治十年  
おなつたれつきののほろたけ  
人伝のまじりたるあはれ  
直  
同五年  
おなつたれつきののほろたけ  
人伝のまじりたるあはれ  
直  
大正元年  
十月九日  
おなつたれつきののほろたけ  
人伝のまじりたるあはれ  
直

籍中戀

明治十年  
おなつたれつきののほろたけ  
人伝のまじりたるあはれ  
直

旅宿戀

大正三年  
五月十五日

同元年  
十月十五日

山家巻

同五年  
一月九日

月前巻

同二年  
五月廿六日

同元年  
十月廿九日

雪中巻

同日

同五年  
一月九日

雪中巻

同元年  
十月廿九日

巻  
淡

同元年  
七月廿五日

同元年  
七月廿五日

巻  
水川

大正三年  
五月廿六日

明治卅六年  
十月廿九日

大正元年  
十月廿九日

同四年  
十二月廿九日

巻  
命

明治卅六年  
一月廿九日

Handwritten Japanese text in cursive style, organized into sections by date and title. The text is written vertically from right to left across the page.

同冊三年  
九月七日

鑾面影

~~~~~

同冊三年
九月

~~~~~

同冊三年  
五月

~~~~~

~~~~~

大正九年  
十月十三日

~~~~~

~~~~~

同冊三年  
十月

~~~~~

同冊三年
十月十七日

~~~~~

~~~~~

同冊

~~~~~

~~~~~

同冊

~~~~~

~~~~~

同冊

~~~~~

鑾天象

同冊三年  
十月三日

~~~~~

鑾地儀

大正九年
十月七日

~~~~~

同冊

~~~~~

鑾輿常

大正元年
十月十日

晴

晴月變

明治卅三年
五月十日

晴

大正元年
四月十日

晴

同三年
五月十日

晴

同元年
九月十日

晴

晴雲變

大正二年
二月十日

晴

大正元年
十月十日

晴

同日

晴

同日

晴

明治卅三年
十月十日

晴

晴雨變

同日

晴

大正二年
十月十日

晴

晴時雨變

明治卅三年
十月十日

晴

晴雲變

同日

晴

大正四年
十二月十日

晴

晴霞變

明治卅三年
十月十日

晴

大正三年
六月九日

よきよきおめでとうの御言葉に
お返しに御挨拶申し上げます

寄池巻

明治卅三年
七月三日

おかげさまで御挨拶申し上げます

大正三年
六月九日

おかげさまで御挨拶申し上げます

寄瀧巻

同元年
土月四日

是の日の御挨拶に御返しの御挨拶
申し上げます

寄瀧巻

同日

おかげさまで御挨拶申し上げます

寄山巻

明治卅三年
土月上旬

おかげさまで御挨拶申し上げます

寄山巻

文久
元年

おかげさまで御挨拶申し上げます

明治
土年

おかげさまで御挨拶申し上げます

大正三年
七月六日

おかげさまで御挨拶申し上げます

同元年
土月一日

おかげさまで御挨拶申し上げます

寄園巻

明治卅三年
土月一日

おかげさまで御挨拶申し上げます

同卅二年
二月九日

おかげさまで御挨拶申し上げます

寄橋巻

同年
六月廿日

おかげさまで御挨拶申し上げます

大正元年
土月六日

おかげさまで御挨拶申し上げます

寄木巻

大正元年
七月十日

まじりのまじりのまじり

青柳戀

同三年
五月廿日

まじりのまじりのまじり

明治卅三年
七月三十日

まじりのまじりのまじり

青柳戀

大正三年
六月十日

まじりのまじりのまじり

同四年
四月十日

まじりのまじりのまじり

同元年
七月十日

まじりのまじりのまじり

明治卅三年
六月十日

まじりのまじりのまじり

青柳戀

同四年
七月十日

まじりのまじりのまじり

青柳戀

大正三年
四月十日

まじりのまじりのまじり

同四年
九月十日

まじりのまじりのまじり

青柳戀

明治卅三年
七月十日

まじりのまじりのまじり

大正元年
七月十日

まじりのまじりのまじり

同日

まじりのまじりのまじり

青柳戀

同十年

まじりのまじりのまじり

同日

まじりのまじりのまじり

青柳戀

大正元年
十月十九日

足折のそとりのめをこへつせむとす

同二年
五月十三日

道通の折のりつとす

明治卅八年
十月十九日

赤折のりつとす

草草戀

同年
十月四日

屋所

大正三年
六月廿四日

足折のりつとす

草草戀

明治卅三年
七月廿二日

隠治

草水草戀

同卅四年
九月九日

いしゆなるりつとす

草草草戀

同卅八年
十月

池水の流るるりつとす

同卅九年
十月九日

折とすりつとす

草夏草戀

大正三年
四月廿七日

折りたるりつとす

草草戀

明治卅八年
十月十日

いしゆなるりつとす

草草戀

大正九年
十月十日

いしゆなるりつとす

同日

いしゆなるりつとす

明治卅八年
十月十日

いしゆなるりつとす

草草戀

大正二年

大正二年 十月十日 大正二年 十月十日

大正二年 十月十日

同四年

同四年 十月十日 同四年 十月十日

同九年

同九年 十月十日 同九年 十月十日

同三年

同三年 十月十日 同三年 十月十日

同年

同年 十月十日 同年 十月十日

同九年

同九年 十月十日 同九年 十月十日

同四年

同四年 十月十日 同四年 十月十日

同九年

同九年 十月十日 同九年 十月十日

大正二年

大正二年 十月十日 大正二年 十月十日

明正四年

明正四年 十月十日 明正四年 十月十日

明正四年

明正四年 十月十日 明正四年 十月十日

同五年

同五年 十月十日 同五年 十月十日

大正二年

大正二年 十月十日 大正二年 十月十日

明正四年

明正四年 十月十日 明正四年 十月十日

同二年

同二年 十月十日 同二年 十月十日

大正五年

大正五年 十月十日 大正五年 十月十日

明正六年

明正六年 十月十日 明正六年 十月十日

同五年

同五年 十月十日 同五年 十月十日

同四年

同四年 十月十日 同四年 十月十日

同四年

同四年 十月十日 同四年 十月十日

大正五年

大正五年 十月十日 大正五年 十月十日

大正元年
八月十七日

同日

同日

同日

同日

同日

同日

同日

同日

同日

任官

...

...

...

...

...

...

...

...

...

同日

同日

同日

同日

同日

同日

同日

同日

同日

同日

同日

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

富士山

明治三十二年
九月十日

この朝も山の麓に雲がたまり、霧の谷間に霞がたまり、

同年
十月九日

山頂の雪が溶け、山腹の雪が融け、

同三十四年
十月十日

山頂の雪が溶け、山腹の雪が融け、

明治七年

山頂の雪が溶け、山腹の雪が融け、

同三十二年
十月十日

山頂の雪が溶け、山腹の雪が融け、

同三十二年

山頂の雪が溶け、山腹の雪が融け、

春富士山

同三十二年

山頂の雪が溶け、山腹の雪が融け、

夏富士山

同三十二年
九月十日

山頂の雪が溶け、山腹の雪が融け、

秋富士山

同三十二年
十月十日

山頂の雪が溶け、山腹の雪が融け、

同三十二年

山頂の雪が溶け、山腹の雪が融け、

冬富士山

同三十四年
十月十日

山頂の雪が溶け、山腹の雪が融け、

山

大正九年
十月十日

山頂の雪が溶け、山腹の雪が融け、

山

明治三十二年
十月十日

山頂の雪が溶け、山腹の雪が融け、

山

山頂の雪が溶け、山腹の雪が融け、

大正九年
十二月廿九日

水

古 瀬

同日

水

水

同日

水

水

同日

水

同日

水

同日

水

五十 三

同日

水

水

同日

水

同日

水

井

同日

水

同日

水

水 濠

同日

水

木

同日

水

水

大正九年
十二月

明治卅四年
五月

山嶺 松

同前一年
二月

赤松 邊松

同前

大正二年
二月

浦 松

明治卅三年
十二月

行路 松

同前一年
八月

庭 松

大正二年
八月

池 松

明治卅三年
十二月

庭 松

大正二年
二月

同前一年
五月

桂

明治卅四年
十月

櫻

同前

この松は、明治卅四年の植栽に
よるものと見られる。樹形は
自然な感じがあり、周囲の
環境に溶け込んでいる。

同前一年の植栽に由来する
ものと推定される。樹高は
約10メートルに達している。

同前、この松は、大正二年
の植栽に由来するものと
見られる。

明治卅三年の植栽に由来する
ものと推定される。樹形は
自然な感じがあり、周囲の
環境に溶け込んでいる。

同前一年の植栽に由来する
ものと推定される。樹高は
約10メートルに達している。

大正二年の植栽に由来する
ものと推定される。樹形は
自然な感じがあり、周囲の
環境に溶け込んでいる。

明治卅三年の植栽に由来する
ものと推定される。樹形は
自然な感じがあり、周囲の
環境に溶け込んでいる。

大正二年の植栽に由来する
ものと推定される。樹形は
自然な感じがあり、周囲の
環境に溶け込んでいる。

同前一年の植栽に由来する
ものと推定される。樹形は
自然な感じがあり、周囲の
環境に溶け込んでいる。

明治卅四年の植栽に由来する
ものと推定される。樹形は
自然な感じがあり、周囲の
環境に溶け込んでいる。

同前の植栽に由来するものと
推定される。樹形は自然な
感じがあり、周囲の環境に
溶け込んでいる。

Onon n. 31a

明治卅四年
十月十日

鳥入の山に於て採られたるものにして、
生

竹

明治卅三年
二月十日

鳥入の山に於て採られたるものにして、
生

葉

同十三年

鳥入の山に於て採られたるものにして、
生

同卅四年

鳥入の山に於て採られたるものにして、
生

里

明治卅一年
九月六日

鳥入の山に於て採られたるものにして、
生

明治卅三年
十月十日

鳥入の山に於て採られたるものにして、
生

草

明治卅二年

鳥入の山に於て採られたるものにして、
生

江

明治卅三年
十二月十日

鳥入の山に於て採られたるものにして、
生

葉

同十一年

鳥入の山に於て採られたるものにして、
生

鶴

明治卅一年
九月七日

鳥入の山に於て採られたるものにして、
生

明治卅一年

鳥入の山に於て採られたるものにして、
生

浦

明治卅一年

鳥入の山に於て採られたるものにして、
生

在鳥

明治卅五年
九月九日

おもしろい鳥の鳴き声は、
さういふ鳥の鳴き声は、
さういふ鳥の鳴き声は、

大正三年
九月十日

おもしろい鳥の鳴き声は、
さういふ鳥の鳴き声は、
さういふ鳥の鳴き声は、

鶺鴒

同三年
九月十日

おもしろい鳥の鳴き声は、
さういふ鳥の鳴き声は、
さういふ鳥の鳴き声は、

鶺鴒

明治卅五年
九月十日

おもしろい鳥の鳴き声は、
さういふ鳥の鳴き声は、
さういふ鳥の鳴き声は、

大正三年
八月三十日

おもしろい鳥の鳴き声は、
さういふ鳥の鳴き声は、
さういふ鳥の鳴き声は、

鶺鴒

明治卅五年
八月三十日

おもしろい鳥の鳴き声は、
さういふ鳥の鳴き声は、
さういふ鳥の鳴き声は、

鶺鴒

同三年
十月十日

おもしろい鳥の鳴き声は、
さういふ鳥の鳴き声は、
さういふ鳥の鳴き声は、

遠村鶺鴒

同三年
十月十日

おもしろい鳥の鳴き声は、
さういふ鳥の鳴き声は、
さういふ鳥の鳴き声は、

水鳥

同卅四年

おもしろい鳥の鳴き声は、
さういふ鳥の鳴き声は、
さういふ鳥の鳴き声は、

鶺鴒

大正三年
二月十日

おもしろい鳥の鳴き声は、
さういふ鳥の鳴き声は、
さういふ鳥の鳴き声は、

鶺鴒

同三年
二月十日

おもしろい鳥の鳴き声は、
さういふ鳥の鳴き声は、
さういふ鳥の鳴き声は、

同。

おもしろい鳥の鳴き声は、
さういふ鳥の鳴き声は、
さういふ鳥の鳴き声は、

鶺鴒

明治卅五年
六月二十日

おもしろい鳥の鳴き声は、
さういふ鳥の鳴き声は、
さういふ鳥の鳴き声は、

牛

大正三年
九月廿六日

明治卅三年
九月廿六日

大正三年
九月廿六日

牛

同

替

明治卅三年
九月廿六日

青

大正三年
九月廿六日

黄

同

赤

同

白

同

黒

同

同

書

同

同

明治四年

トシハシテ人ニシテ...

硯

同十一年

トシハシテ人ニシテ...

筆

同十四年

トシハシテ人ニシテ...

同十四年

トシハシテ人ニシテ...

同十四年

トシハシテ人ニシテ...

船

同十四年

トシハシテ人ニシテ...

同十四年

トシハシテ人ニシテ...

釣船

明治四年

トシハシテ人ニシテ...

玉

大正元年

トシハシテ人ニシテ...

玉

明治三年

トシハシテ人ニシテ...

同十一年

トシハシテ人ニシテ...

挿頭

同十一年

トシハシテ人ニシテ...

釵

同十一年

トシハシテ人ニシテ...

大正三年

トシハシテ人ニシテ...

大正二年
九月十日

馬

馬の利便を以て其の飼養を怠らざることを期す

明治卅三年
十二月十日

馬

馬の飼養に於て其の利便を以て其の飼養を怠らざることを期す

同二十一年

金

金の利便を以て其の飼養を怠らざることを期す

同卅二年
九月十日

不若

人の利便を以て其の飼養を怠らざることを期す

同日

人の利便を以て其の飼養を怠らざることを期す

同卅三年
十二月十日

鐘

人の利便を以て其の飼養を怠らざることを期す

大正二年
九月十日

人の利便を以て其の飼養を怠らざることを期す

晚鐘

同卅年
六月十日

人の利便を以て其の飼養を怠らざることを期す

明治
十三年

人の利便を以て其の飼養を怠らざることを期す

大正二年
三月十日

鏡

人の利便を以て其の飼養を怠らざることを期す

明治卅二年
十二月十日

人の利便を以て其の飼養を怠らざることを期す

大正二年
九月十日

清

人の利便を以て其の飼養を怠らざることを期す

明治卅三年
十二月十日

杖

人の利便を以て其の飼養を怠らざることを期す

同卅二年
十二月十日

人の利便を以て其の飼養を怠らざることを期す

同卅一年
九月十日

人の利便を以て其の飼養を怠らざることを期す

枕

大正三年
九月十二日

明治卅一年
十月二日

藥

大正三年
九月四日

同
五日

釣

同二年
一月九日

簾

明治卅四年
十月廿三日

宿

同
十日

以
後

同
九年
九月一日

あ
う

同
日

い
ち

同
日

し
ん

同
廿八年

酒

大正三年
三月三日

Handwritten cursive text in Japanese, organized into columns corresponding to the dates and section headers. The text is dense and difficult to transcribe fully, but appears to be a collection of notes or a diary.

明治卅四年
九月甲子

明治卅五年
九月甲子

明治卅六年
九月甲子

心後夢

同六年

大正二年
二月甲子

明治卅七年
二月甲子

同卅四年
二月甲子

心後夢

大正二年
八月甲子

心後夢

同二年
十二月
十二日

心

明治卅九年

大正二年
九月甲子

同二年
一月甲子

同三年
九月甲子

同日

同二年
一月甲子

心

明治卅五年

大正二年
三月甲子

いんぢれんあまのうらなひ... 心後夢

いれらるゝ心後夢... 心

年々わくわく心後夢... 心

心後夢

心後夢

心後夢

心後夢

心後夢

心後夢

心

心後夢

心後夢

心後夢

心後夢

心後夢

心後夢

心後夢

心後夢

心後夢

明正徳二年 山崎玄仙の書

罪人

大正二年 一月十七日

流人

明正徳二年 三月十九日

同

病人

同五年 一月十六日

遊女

同二年 三月十七日

同一年 一月十七日

同二年 九月十九日

仙人

同二年 三月十九日

僧

明正徳二年 三月十九日

大正二年 三月十九日

心

明正徳二年

孩兒

大正二年 五月十四日

明正徳二年 五月一日

是乳母の母乳に乳中が混入して居る

しるしを認め、乳中の成分を分析して、

乳中の成分を分析して、乳中の成分を

分析して、乳中の成分を分析して、

分析して、乳中の成分を分析して、

分析して、乳中の成分を分析して、

分析して、乳中の成分を分析して、

分析して、乳中の成分を分析して、

分析して、乳中の成分を分析して、

分析して、乳中の成分を分析して、

分析して、乳中の成分を分析して、

分析して、乳中の成分を分析して、

分析して、乳中の成分を分析して、

分析して、乳中の成分を分析して、

分析して、乳中の成分を分析して、

分析して、乳中の成分を分析して、

分析して、乳中の成分を分析して、

分析して、乳中の成分を分析して、

分析して、乳中の成分を分析して、

分析して、乳中の成分を分析して、

分析して、乳中の成分を分析して、

分析して、乳中の成分を分析して、

分析して、乳中の成分を分析して、

分析して、乳中の成分を分析して、

分析して、乳中の成分を分析して、

分析して、乳中の成分を分析して、

分析して、乳中の成分を分析して、

童女

明治四年

~~~~~

孫

大正三年

~~~~~

親

同二年

~~~~~

同四年

~~~~~

子

同二年

~~~~~

同日

~~~~~

兄弟

同五年

是乳母の親女を養育せしむる事

美人

明治四年

喜ぶ事ありて女を養育せしむる事

妻女

大正三年

わが子に我れを養育せしむる事

妻

明治四年

~~~~~

大正三年

~~~~~

同二年

~~~~~

同四年

~~~~~

九月廿六日

~~~~~

田家

大正三年  
一月廿三日

東京府立川町立川村  
田家

田家

大正三年  
七月廿日

東京府立川町立川村  
田家

故郷

大正二年  
一月廿日

東京府立川町立川村  
故郷

東京府立川町立川村  
故郷

東京府立川町立川村  
故郷

明治廿九年  
一月廿日

東京府立川町立川村  
故郷

故郷

大正二年  
一月廿日

東京府立川町立川村  
故郷

故郷

大正二年  
一月廿日

東京府立川町立川村  
故郷

故郷

大正二年  
七月廿日

東京府立川町立川村  
故郷

故郷

大正二年  
七月廿日

東京府立川町立川村  
故郷

東京府立川町立川村  
故郷

東京府立川町立川村  
故郷

東京府立川町立川村  
故郷

東京府立川町立川村  
故郷

東京府立川町立川村  
故郷

山家月

明治三十三年  
十二月十九日

山家

同前

山家

同前  
九月廿日

山家

明治十七年

山家

大正四年  
十二月廿九日

山家

明治十七年

同前  
十月廿日

大正三年  
七月廿九日

同前  
七月廿九日

同前  
七月廿九日

山家

明治十四年  
十月廿日

山家

同前

山家

同前

山家月

山家月

山家月

山家月

山家月

山家月

山家月

山家月

山家月

山家月

山家月

山家月

山家月

岡居夢

明治十年

とていふ夢をみるは久しかりし長き夢なり

直路

岡居待友

同冊三年

花の香をよみしは夢に似たり

同冊二年

物に心をこめしは夢に似たり

夢に似たり

同冊二年

花の香をよみしは夢に似たり

夢に似たり

大正四年

是れ花の香をよみしは夢に似たり

夢に似たり

同冊二年

花の香をよみしは夢に似たり

夢に似たり

明治十四年

花の香をよみしは夢に似たり

別

大正三年

花の香をよみしは夢に似たり

別

同冊二年

花の香をよみしは夢に似たり

夢に似たり

夢に似たり

明治十年

花の香をよみしは夢に似たり

旅

元治元年

花の香をよみしは夢に似たり

明正二年

あめくさのうらみはなほつらき花のよもぎ

旅行

大正二年

花のよもぎはなほつらき花のよもぎ

明正二年

あめくさのうらみはなほつらき花のよもぎ

旅宿

大正二年

あめくさのうらみはなほつらき花のよもぎ

同日

あめくさのうらみはなほつらき花のよもぎ

春旅宿

明正二年

あめくさのうらみはなほつらき花のよもぎ

夏旅宿

大正四年

あめくさのうらみはなほつらき花のよもぎ

秋旅宿

同二年

あめくさのうらみはなほつらき花のよもぎ

明正二年

あめくさのうらみはなほつらき花のよもぎ

冬旅宿

同正二年

あめくさのうらみはなほつらき花のよもぎ

大正二年

あめくさのうらみはなほつらき花のよもぎ

明正二年

あめくさのうらみはなほつらき花のよもぎ

旅宿朝

同正二年

あめくさのうらみはなほつらき花のよもぎ

同正四年

あめくさのうらみはなほつらき花のよもぎ

旅宿夢

元治元年

此一松也、人古くも愛せられたるものなり、其の樹は、

明徳四年  
十一月

此の松は、昔より名高く、其の樹は、

羅中一思都

同治元年  
十一月九日

此の松は、昔より名高く、其の樹は、

羅中雲

大正二年  
三月廿七日

此の松は、昔より名高く、其の樹は、

羅中七

明治卅年

此の松は、昔より名高く、其の樹は、

大正二年  
一月廿日

此の松は、昔より名高く、其の樹は、

羅中森

明治卅年  
十一月

此の松は、昔より名高く、其の樹は、

羅中関

同治元年  
十一月

此の松は、昔より名高く、其の樹は、

羅中橋

大正元年  
十一月廿日

此の松は、昔より名高く、其の樹は、

明治卅年  
十一月廿日

此の松は、昔より名高く、其の樹は、

羅中友

同治元年  
十一月九日

此の松は、昔より名高く、其の樹は、

人之所欲在快樂、積千金而自累、不若家無四壁之安也。

同治元年

此の松は、昔より名高く、其の樹は、

勇不能以克己、則為嗜欲所制、不害性喪身者幾希矣。

同治二年

此の松は、昔より名高く、其の樹は、





何事もなしに

御座り候事

御座り候事

御座り候事

御座り候事

御座り候事

御座り候事

御座り候事

御座り候事

御座り候事

御座り候事

明治七年  
五月廿日

明治六年  
十月廿日

同日

明治七年  
三月廿九日

御座り候事

御座り候事

御座り候事

御座り候事

御座り候事

御座り候事

御座り候事

御座り候事

御座り候事

御座り候事

御座り候事

明治七年  
五月廿日

明治七年  
五月廿日

同日

明治七年  
五月廿日

明治七年  
五月廿日

明治十肆年

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

同月

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

晚夏

同月

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

同月

秋雨

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

變

同日

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

同月

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

同月

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

同月

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

同月

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

— 100 —

同廿二年
同廿二年
同廿二年

同廿月
同廿月

同廿月
同廿月

同廿月
同廿月

同廿月
同廿月

同廿月
同廿月

同廿月
同廿月

同廿月
同廿月

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

同開二年

明治廿五年

廿九年

同開三年

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

明治廿五年
別駕航使
味木島一権

幾河園

同

同

同

明治廿五年

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or historical record.

Handwritten text in Arabic script, possibly a title or a specific entry.

明神宗五年

Handwritten text in Arabic script, continuing the record.

Handwritten text in Arabic script, continuing the record.

Handwritten text in Arabic script, possibly a title or a specific entry.

同治五年

Handwritten text in Arabic script, continuing the record.

大清五年

Handwritten text in Arabic script, continuing the record.

同治二年

Handwritten text in Arabic script, continuing the record.

Handwritten text in Arabic script, possibly a title or a specific entry.

Handwritten text in Arabic script, possibly a title or a specific entry.

明神宗九年

Handwritten text in Arabic script, continuing the record.

大清二年

Handwritten text in Arabic script, continuing the record.

Handwritten text in Arabic script, possibly a title or a specific entry.

明神宗五年

Handwritten text in Arabic script, continuing the record.

同治九年

Handwritten text in Arabic script, continuing the record.

同治五年

Handwritten text in Arabic script, continuing the record.

Handwritten text in Arabic script, possibly a title or a specific entry.

同治年

Handwritten text in Arabic script, continuing the record.

明正徳元年
四月十一日
香取郡
長都村
八石蔵坊

香取郡
長都村
八石蔵坊
明正徳元年
四月十一日

香取郡
長都村
八石蔵坊
明正徳元年
四月十一日
香取郡
長都村
八石蔵坊
明正徳元年
四月十一日

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 12 lines of dense cursive writing.

明倫彙編
家範典
卷一百一十五

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 12 lines of dense cursive writing.

明倫彙編
家範典
卷一百一十五

明治十三年

明治十三年三月廿一日

三月廿一日

三月廿一日

明治十三年

三月廿一日

三月廿一日

明治十三年

三月廿一日

三月廿一日

三月廿一日

三月廿一日

三月廿一日

三月廿一日

明治十三年

三月廿一日

三月廿一日

三月廿一日

明治十三年

三月廿一日

三月廿一日

三月廿一日

三月廿一日

三月廿一日

三月廿一日

三月廿一日

三月廿一日

明治十三年

Handwritten text in Arabic script, consisting of several lines of cursive writing.

民國二年
十月九日
上海

Handwritten text in Arabic script, including a date and location.

民國二年
十月九日
上海

Handwritten text in Arabic script, continuing the cursive writing.

民國二年

Handwritten text in Arabic script, likely a date or location.

民國二年

Handwritten text in Arabic script, including a date and location.

民國二年

Handwritten text in Arabic script, continuing the cursive writing.

民國二年

Handwritten text in Arabic script, including a date and location.

Handwritten text in cursive script, likely a letter or document, starting with a large initial character.

建 建

Handwritten text in cursive script, continuing the document or letter.

Handwritten text in cursive script, continuing the document or letter.

Handwritten text in cursive script, continuing the document or letter.

大正三年三月廿六日

大正三年三月廿六日

大正三年三月廿六日

大正三年三月廿六日

大正三年三月廿六日

大正三年三月廿六日

大正三年三月廿六日

大正三年三月廿六日

大正三年三月廿六日

大正三年三月廿六日

大正三年三月廿六日

大正三年三月廿六日

大正三年三月廿六日

大正三年三月廿六日

大正三年三月廿六日

大正三年三月廿六日

大正三年三月廿六日

大正三年三月廿六日

大正三年三月廿六日

大正三年三月廿六日

大正三年三月廿六日

大正三年三月廿六日

大正三年三月廿六日

大正三年三月廿六日

大正三年三月廿六日

大正三年三月廿六日

大正三年三月廿六日

大正三年三月廿六日

大正三年三月廿六日

大正三年三月廿六日

大正三年三月廿六日

大正三年三月廿六日

大正三年三月廿六日

春懷舊

大正二年

春の風はさかづきの如く

對月思故人

同祥

あふりて都の月を

對月懷舊

同二年

是乳根の西の月を

同祥

あふりて都の月を

同祥

あふりて都の月を

同四年

あふりて都の月を

春懷舊

同二年

あふりて都の月を

春野懷舊

同二年

あふりて都の月を

春露懷舊

同祥

あふりて都の月を

春花懷舊

大正二年

あふりて都の月を

寄琴懷舊

同二年

あふりて都の月を

寄鏡懷舊

同祥

あふりて都の月を

寄扇懷舊

明治卅四年

人の子は生れては必ず死すべし

始知衆生本來成佛生死涅槃猶如昨夢

同卅四年

身命財產終歸無常

身命財產終歸無常

同卅七年

無常

無常

大正四年
十二月卅日

人の子は生れては必ず死すべし

生前無常

同二年
九月廿七日

人の子は生れては必ず死すべし

生前無常

明治卅四年
十一月廿日

人の子は生れては必ず死すべし

大正二年
六月廿日

人の子は生れては必ず死すべし

生前無常

同三年
九月廿日

人の子は生れては必ず死すべし

生前無常

明治卅四年
七月十日

人の子は生れては必ず死すべし

同日

人の子は生れては必ず死すべし

衰傷

大正三年
九月廿日

人の子は生れては必ず死すべし

同四年
十一月廿日

人の子は生れては必ず死すべし

子孫ありて

同三年
七月廿日

人の子は生れては必ず死すべし

明治五年
十月

然るに我々の如きものありては

其の如きものありては

明治五年
十月

然るに我々の如きものありては

其の如きものありては

明治五年
十月

然るに我々の如きものありては

其の如きものありては

明治五年
十月

然るに我々の如きものありては

明治九年

然るに我々の如きものありては

明治二年

然るに我々の如きものありては

明治五年
十月

然るに我々の如きものありては

明治五年
十月

然るに我々の如きものありては

明治五年
十月

然るに我々の如きものありては

明治五年
十月

然るに我々の如きものありては

Handwritten text in vertical columns, likely a preface or introductory section.

明倫彙編

家範典 卷之九 婦人

婦人

婦人者 陰也 柔也 順也

陰者 靜也 柔也 順也

靜者 安也 柔者 順也 順者 德也

德者 下之所歸 婦人者 天下之歸也

婦人者 陰也 陰者 靜也 靜者 安也

安者 順也 順者 德也 德者 下之所歸

婦人者 天下之歸也 婦人者 天下之歸也

明倫彙編

家範典 卷之九 婦人

婦人者 陰也 陰者 靜也 靜者 安也

安者 順也 順者 德也 德者 下之所歸

婦人者 天下之歸也 婦人者 天下之歸也

婦人者 天下之歸也 婦人者 天下之歸也

婦人者 天下之歸也 婦人者 天下之歸也

婦人者 天下之歸也 婦人者 天下之歸也

婦人者 天下之歸也 婦人者 天下之歸也

婦人者 天下之歸也 婦人者 天下之歸也

明倫彙編
九月二日
發序

婦人者 天下之歸也

婦人者 天下之歸也 婦人者 天下之歸也

婦人者 天下之歸也

明倫彙編
十月

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 15 lines of dense cursive writing.

Handwritten text in Arabic script, consisting of a single line.

Handwritten text in Arabic script, consisting of a single line.

Handwritten text in Arabic script, consisting of a single line.

Handwritten text in Arabic script, consisting of a single line.

Handwritten text in Arabic script, consisting of a single line.

Handwritten text in Arabic script, consisting of a single line.

Handwritten text in Arabic script, consisting of a single line.

Handwritten text in Arabic script, consisting of a single line.

Handwritten text in Arabic script, consisting of a single line.

Handwritten text in Arabic script, consisting of a single line.

Handwritten text in Arabic script, consisting of a single line.

Handwritten date in Arabic script: 1025 AH

Handwritten date in Arabic script: 1025 AH

Handwritten date in Arabic script: 1025 AH

Handwritten date in Arabic script: 1025 AH

神 祇

明治十二年
十月廿六日

（このころは）東の海にわたる神の御霊を奉りてはせむ事なり
人々の心は神の御霊を奉りてはせむ事なり

社

明治十二年
十月廿六日

神の御霊を奉りてはせむ事なり
神の御霊を奉りてはせむ事なり

明治十二年
十月廿六日

神の御霊を奉りてはせむ事なり
神の御霊を奉りてはせむ事なり

伊勢大社 遷座まつり

明治十二年
九月廿六日

神の御霊を奉りてはせむ事なり
神の御霊を奉りてはせむ事なり

明治十二年

神の御霊を奉りてはせむ事なり
神の御霊を奉りてはせむ事なり

明治十二年

神の御霊を奉りてはせむ事なり
神の御霊を奉りてはせむ事なり

明治十二年

神の御霊を奉りてはせむ事なり
神の御霊を奉りてはせむ事なり

明治十二年

神の御霊を奉りてはせむ事なり
神の御霊を奉りてはせむ事なり

明治十二年

神の御霊を奉りてはせむ事なり
神の御霊を奉りてはせむ事なり

明治十二年

神の御霊を奉りてはせむ事なり
神の御霊を奉りてはせむ事なり

善哉有嘉色

明治廿四年
二月十九日

~~~~~

昇平多末祝

明治廿四年  
二月十九日

~~~~~

青霞祝

明治廿四年
二月十九日

~~~~~

春祝

明治廿四年  
二月十九日

~~~~~

夏祝

明治廿四年
二月十九日

~~~~~

秋祝

明治廿四年  
二月十九日

~~~~~

冬祝

明治廿四年
二月十九日

~~~~~

宗少祝

明治廿四年  
二月十九日

~~~~~

君恩如海

明治廿四年
二月十九日

~~~~~

祝言

明治廿四年  
二月十九日

~~~~~

萬氏祝

明治廿四年
二月十九日

~~~~~





同  
 大同四年  
 十月  
 大同五年  
 十月  
 大同六年  
 十月  
 大同七年  
 十月  
 大同八年  
 十月  
 大同九年  
 十月  
 大同十年  
 十月  
 大同十一年  
 十月  
 大同十二年  
 十月  
 大同十三年  
 十月  
 大同十四年  
 十月  
 大同十五年  
 十月  
 大同十六年  
 十月  
 大同十七年  
 十月  
 大同十八年  
 十月  
 大同十九年  
 十月  
 大同二十年  
 十月  
 大同二十一年  
 十月  
 大同二十二年  
 十月  
 大同二十三年  
 十月  
 大同二十四年  
 十月  
 大同二十五年  
 十月  
 大同二十六年  
 十月  
 大同二十七年  
 十月  
 大同二十八年  
 十月  
 大同二十九年  
 十月  
 大同三十年  
 十月  
 大同三十一年  
 十月  
 大同三十二年  
 十月  
 大同三十三年  
 十月  
 大同三十四年  
 十月  
 大同三十五年  
 十月  
 大同三十六年  
 十月  
 大同三十七年  
 十月  
 大同三十八年  
 十月  
 大同三十九年  
 十月  
 大同四十年  
 十月  
 大同四十一年  
 十月  
 大同四十二年  
 十月  
 大同四十三年  
 十月  
 大同四十四年  
 十月  
 大同四十五年  
 十月  
 大同四十六年  
 十月  
 大同四十七年  
 十月  
 大同四十八年  
 十月  
 大同四十九年  
 十月  
 大同五十年  
 十月  
 大同五十一年  
 十月  
 大同五十二年  
 十月  
 大同五十三年  
 十月  
 大同五十四年  
 十月  
 大同五十五年  
 十月  
 大同五十六年  
 十月  
 大同五十七年  
 十月  
 大同五十八年  
 十月  
 大同五十九年  
 十月  
 大同六十年  
 十月  
 大同六十一年  
 十月  
 大同六十二年  
 十月  
 大同六十三年  
 十月  
 大同六十四年  
 十月  
 大同六十五年  
 十月  
 大同六十六年  
 十月  
 大同六十七年  
 十月  
 大同六十八年  
 十月  
 大同六十九年  
 十月  
 大同七十年  
 十月  
 大同七十一年  
 十月  
 大同七十二年  
 十月  
 大同七十二年  
 十月

大同三年  
 九月  
 大同四年  
 七月  
 大同五年  
 七月  
 大同六年  
 七月  
 大同七年  
 七月  
 大同八年  
 七月  
 大同九年  
 七月  
 大同十年  
 七月  
 大同十一年  
 七月  
 大同十二年  
 七月  
 大同十三年  
 七月  
 大同十四年  
 七月  
 大同十五年  
 七月  
 大同十六年  
 七月  
 大同十七年  
 七月  
 大同十八年  
 七月  
 大同十九年  
 七月  
 大同二十年  
 七月  
 大同二十一年  
 七月  
 大同二十二年  
 七月  
 大同二十三年  
 七月  
 大同二十四年  
 七月  
 大同二十五年  
 七月  
 大同二十六年  
 七月  
 大同二十七年  
 七月  
 大同二十八年  
 七月  
 大同二十九年  
 七月  
 大同三十年  
 七月  
 大同三十一年  
 七月  
 大同三十二年  
 七月  
 大同三十三年  
 七月  
 大同三十四年  
 七月  
 大同三十五年  
 七月  
 大同三十六年  
 七月  
 大同三十七年  
 七月  
 大同三十八年  
 七月  
 大同三十九年  
 七月  
 大同四十年  
 七月  
 大同四十一年  
 七月  
 大同四十二年  
 七月  
 大同四十三年  
 七月  
 大同四十四年  
 七月  
 大同四十五年  
 七月  
 大同四十六年  
 七月  
 大同四十七年  
 七月  
 大同四十八年  
 七月  
 大同四十九年  
 七月  
 大同五十年  
 七月  
 大同五十一年  
 七月  
 大同五十二年  
 七月  
 大同五十三年  
 七月  
 大同五十四年  
 七月  
 大同五十五年  
 七月  
 大同五十六年  
 七月  
 大同五十七年  
 七月  
 大同五十八年  
 七月  
 大同五十九年  
 七月  
 大同六十年  
 七月  
 大同六十一年  
 七月  
 大同六十二年  
 七月  
 大同六十三年  
 七月  
 大同六十四年  
 七月  
 大同六十五年  
 七月  
 大同六十六年  
 七月  
 大同六十七年  
 七月  
 大同六十八年  
 七月  
 大同六十九年  
 七月  
 大同七十年  
 七月  
 大同七十一年  
 七月  
 大同七十二年  
 七月  
 大同七十二年  
 七月

Handwritten text in Arabic script, consisting of three lines of cursive script.

同廿四年  
二月廿

Handwritten text in Arabic script, a single line.

同廿五年  
十二月廿七

Handwritten text in Arabic script, a single line.

同廿六年  
九月廿七

Handwritten text in Arabic script, a single line.

同廿七年

Handwritten text in Arabic script, a single line.

同廿八年  
三月廿

Handwritten text in Arabic script, a single line.

同廿九年

Handwritten text in Arabic script, a single line.

大正二年  
九月廿四

Handwritten text in Arabic script, a single line.

明治卅三年  
一月廿

Handwritten text in Arabic script, a single line.

大正卅年  
十二月廿

Handwritten text in Arabic script, a single line.

264  
173

春歌 三百六十一首

夏歌 鄭百十四首

秋歌 二百廿七首

冬歌 鄭百十四首

總歌 四百四十四首

雜歌 七百五首

通計 歲千貳百七十五首

終

